

鹿児島県



鹿屋市



面積: 448.33 km²

人口: 102,397人(平成30年10月現在)

市の木: クス / 市の花: バラ

ピースツーリズム



鹿屋市には、太平洋戦争時に3つの飛行場が存在し、日本で最も多くの特攻隊が出撃した歴史があります。鹿屋海軍航空基地からは908名、串良海軍航空基地からは363名の特攻隊員が出撃し、その尊い命を失いました。

ブルーツーリズム



閉校した小学校を活用した「ユクサおすみ海の学校」は、平成30年7月にオープンしました。海沿いにある最高のロケーションを活かし、収容人数最大116名の宿泊施設の他、地元食材を使ったメニュー、マリンスポーツや海釣り等の体験を楽しめる観光交流拠点施設です。

【市の概要】

鹿屋市は、鹿児島県の東側にある大隅半島(鹿屋市、垂水市、曾於市、志布志市、錦江町、肝付町、東串良町、大崎町、南大隅町の4市5町)のほぼ中央に位置しており、大隅地域の交通・産業・経済・文化の拠点となっています。笠野原台地と肝属平野が広がり、市域中央部にかけて平坦地が続いており、日本の自然百景にも選ばれている雄大な高隈山系、長い海岸線を有する錦江湾に面しているなど、様々な地域を有しています。

また、国立大学法人鹿屋体育大学や国立大隅青少年自然の家など、健康・スポーツに関連する機関・施設や、荒平天神、吾平山上陵といった美しい風景や日本一の星空を展望できる輝北天球館、当時の姿をそのまま残す戦争遺跡、そして日本一に輝いた和牛や黒豚、かのやカンパチ、かのや紅はるかなどおいしい食材が豊富にあるのが特徴です。

【 鹿児島県 鹿屋市 】



かのやばら園

8haの広大な敷地に約35,000株のバラが植えられた日本最大級の規模を誇るばら園です。バラの見ごろの春と秋にあわせて、「かのやばら祭り」を開催しています。特に春の開花シーズンは、鹿児島の温暖な気候を生かし、全国に先駆けて5月のゴールデンウィークに満開を迎えます。



あらひらてんじん 荒平天神

砂の参道が海に突き出た小高い岩場へと続く珍しい神社です。学問の神様・菅原道真公が祀られ、合格祈願に訪れる人が多く、透明度の高い錦江湾の美しい景色や、対岸の開聞岳などを見渡せます。

合格祈願絵馬



たかくまやま 高隈山

高隈山は、大隅半島中央部の鹿屋市と垂水市との境界付近に位置し、鹿児島県内で屋久島、霧島に次ぐ第3の高山群です。標高1,237mの大笹柄岳^{おおのがら}を主峰に標高1,000mを超える7つの峰が連なっています。学術的にも貴重な山で、高隈山単独の森林生態系を形成しており、全国で16か所しかない「森林生物遺伝資源保存林」にも指定されています。



あいらのやまのうえのみささぎ 吾平山上陵

地元で「あいらさんりょう」という呼び名で親しまれ、県下の神代三山陵の一つとされており、全国でも珍しい岩屋の陵で、神武天皇の御父君（ウガヤフキアエズノミコト）と御母君（タマヨリヒメ）の御陵です。500mほど続く参道の神々しい雰囲気伊勢神宮に似ていることから「小伊勢」とも呼ばれ、春は桜、秋には紅葉の名所としても知られています。